

神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。第11回目は、AIさんにその経緯を語っていただきます。

私がはじめて神様を知ったのは、小学5年生の時でした。それは、昭和21年のことで、敗戦の翌年でした。新しく出来た教会の建物は進駐軍の払い下げで、板かまぼこの形をしていました。敗戦後の楽しみのない生活の中で、日曜学校は楽しく、日曜日が来るのが待ち遠しいほどでした。

私が進学した女子短大はミッションスクールでした。毎朝チャペルでの礼拝がありました。日曜日には、寄宿舎から街の教会に通いました。短大を卒業するころ、洗礼をすすめられました。決心がつきませんでした。

結婚後は、教会とは全く縁のない生活で、60年が過ぎました。その間には、悩み、苦しみ、悲しみなど、いろいろなことがありました。ストレスに押しつぶされそうになることもありました。

そんな時、心をよぎるのは神様のことでした。もやもやした心から解放されて、救いを得たいと思いました。教会へ行きたいと思うこともありました。

なかなか勇気が出ませんでした。15年あまり前に宝塚へ引っ越して来て、「Glory」を目にしてから、すでに10年の月日が経っていました。

このたび、「行ってみたら」という夫の言葉に背中を押されて、思い切って教会に飛び込みました。若いころの忘れ物を取りに戻ったような気持ちでした。そして、自分が罪びとであるということに気づかされました。

子どものころに神様を知ってから、長い道のりを迷い続けてきた私ですが、このたび、罪を口で言い表して、十字架を信じて、罪を赦され、神様の前に出ることが出来ました。赦された恵みに感謝しています。クリスチャンになったことに喜びを感じます。ここが出发点だと思っています。

ここまで導いてくださった神様に、心から感謝申し上げます。



礼拝の風景



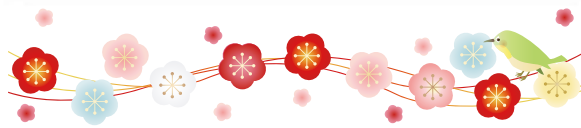
賛美歌誕生秘話 「神 共にいまして」

一般的に卒業式といえば、「揚げば尊し」や「蛍の光」というように、教会で歌われる賛美歌にも定番というのがあります。「神 共にいまして」は送別や葬儀、ミッションスクールの卒業式の定番として、古くから親しまれてきました。しかし、単なる“お決まり”というものではなく、歌詞に込められた強いメッセージがその裏にあるように思います。

19世紀、アメリカの牧師ジェルマイヤ・E・ランキンは、あるとき、英語の「さよなら」Good-byeがGod be with ye(神様があなたと共にいてくださるよう)を縮めた言葉であるということに着想を得て、その意味を丁寧に掘り下げながら、この賛美を作詞したと言われています。

いつ、どこで、何が起こるか分からない昨今を生きる私たちにこそ、神様があなたと共にいてくださるようという祈りを込めたメッセージが必要なのではないでしょうか。

1. 神 共にいまして ^ゆ行く道を守り
^{あめ}天の御糧もて ^{みかて}力を与えませ
(折り返し)
また会う日まで また会う日まで
神の守り ^な汝が身を ^な離れざれ
2. 荒野を行く時も ^{あれの}嵐吹く時も
行く手を示して ^{みかど}絶えず導きませ
3. 御門に入る日まで ^い慈しみ広き
^{みつばさ}御翼の陰に ^{はぐく}絶えず育みませ



宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

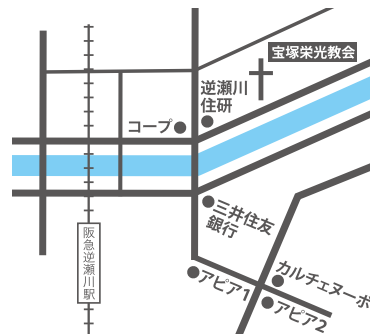
E-mail : info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル

毎週更新、24時間つながります。0797-77-3746

ポッドキャストでも配信！ホームページから利用できます。

礼拝 毎週日曜日 10:30~11:40



試練にあって

私たちの回りには、なぜこんな辛いことが起こるのかと思うことがたくさんあります。しかし、神の真実は疑うべきではありません。聖書はこう言っています。「あなたがたが経験した試練はみな、人の知らないものではありません。神は真実な方です。あなたがたを耐えられない試練にあわせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えていてくださいます。」(コリント人への手紙第一10章13節)

今、実際に大きな試練の中を通されている方は、“これが耐えられない試練ではないなどと、どうして言えるか”、と反論されるかもしれませんね。確かに、この世の常とは思えない、耐え難い試練を経験することがあります。しかし、どんな苦しい試みの中でも、神の顧みが失われることはありません。

私たちの主イエス・キリストは、私たちと同じ人となり、罪を除いては、私たちの経験する試練をことごとく味わってくださいました。神の栄光を捨てて、十字架にかかれませんでした。頭には茨の冠をかぶせられ、両手両足を

釘付けにされ、ののしられ、ツバをかけられ、ついに「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれて、神からさえも捨てられてくださいました。その苦しみは、みな私たちの罪のためでした。

傲慢で、わがままで、愛のかけらもない、こんな私のために、罪のない神の子イエス様が、あのような苦しみを受けてくださったのです。それほど私たちを愛してくださいました。何という深い愛でしょうか。

このキリストの愛を知れば、私たちは、どんな試練にも耐えることができるのです。自分の罪を悔い改め、キリストの十字架が自分のためだったと信じて罪が赦された人は、少々の試練には押しつぶされません。それどころか、果敢に戦って、堂々と勝利を収める人生を歩むことができるようになります。

もしあなたが、今大きな試練の中におられるなら、キリストのもとにおいでください。そして、あなたも、どんな試練の中でも神の真実によって守られる幸いをいただいでほしいと願います。



「幸福と長寿の花 一福寿草一」

春を告げる花の代表は 福寿草である

その名前にも 新春を喜び祝う思いが 込められている

暖冬傾向とはいえ 冷たい冬から 暖かい春の訪れを思い描くと
気持ちもなごんでいく

2月の日々は そんな心に 光を投げかけるように思えてくる

乾いた枯草の庭に 小さな蕾のふくらみを見つけた時から 心は待っていた

待つ者の期待に答えてくれるように

雪の残る場所に咲き始めた 3~4cmぐらいの 黄色い 小柄な花
辺りを彩り 目を楽しませてくれた 福寿草である

光や温度に敏感な花で 昼間でも陽がさえぎられると 花を閉じてしまう
陽が再びあると いつの間にか開いている

こうして花の中の温度を 下げないようにしているのだ

春だけの存在のように見えるが

花が終わってから 地中の根茎をのばし 成長させ 次の春に備えるのだ
再び 私は福寿草に まみえる

神を愛する人たち すなわち

神のご計画にしたがって召された人たちのためには

すべてのことが とともに働いて益となることを 私たちは知っています

ローマ8章(聖書)